

としけいかくどうろ よしづわだちょう 都市計画道路 葭津和田町線

1. 概要

本路線は、横断道境港線（国道431号）と米子駅境線を結ぶ幹線道路である。

当該事業区間は、近隣に位置する美保中学校の通学路となっているが、現歩道は狭小で危険な状況となっており、歩行者の安全確保が求められている。当該区間の整備により、通学路交通安全プログラムで公表された危険個所の安全対策（JRとの立体交差、両側歩道設置）を行うことで、通学路の安全が確保される。

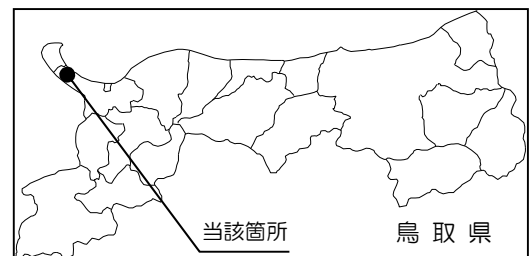
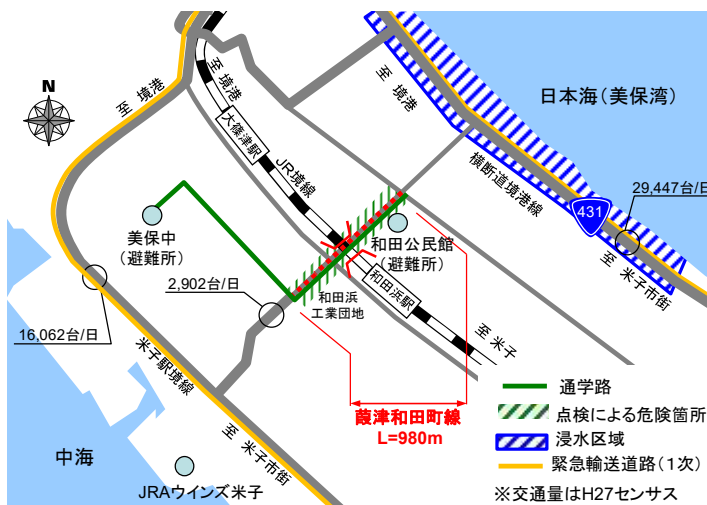
また、当該事業区間内にあるJR境線の和田第9踏切は踏切改良促進法に基づく改良すべき踏切として指定されており、指定期間である平成32年度までの整備が求められており、着実な事業推進が必要である。

なお、当該事業区間付近の横断道境港線は、津波ハザードマップによる浸水区域に含まれており、津波発生時における横断道境港線からの避難路の整備が求められている。当該区間の整備（現道拡幅及びJRとの立体交差）を行うことにより、中海側の避難所への避難路が確保され、防災震災対策に資するものである。

それに加えて、本路線は、鳥取県国土強靱化地域計画（平成28年3月策定）に津波避難路として位置付けられ、防災上も重要な路線であることから、当該区間の整備により、災害時における安全確保を図る。

2. 計画内容

事業主体	鳥取県
事業内容	街路（防災（交安対（通学路））・現道拡幅 0.6765）
踏切除却数	1箇所
所在地	米子市和田町
延長	L=1.0km W=15.0m 車線数：2
事業年度	平成22年度～令和2年度（予定）
全体事業費	C=29.3億円（H30年度末進捗率 74%）



※交通量はH27センサス